



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2639 回例会 4 月 3 日

地区ガバナー 中村 皇 積 クラブ会長 志村 浩男

本日のプログラム

● お花見例会 於：さわ淵

● 会長の時間 志村 浩男 会長

本日はお花見例会で初めての居酒屋例会です。今日は2つ皆さんにお願いがあります。1つ目はロシア東ロータリークラブのエレナさんから返信メールをいただきました。ウクライナ難民を助けるプロジェクトについて詳しく聞いたところ誘拐された難民ではないようです。日本にきて説明してほしいと要望したところ逆にモスクワに来てほしいとの返事でした。現在外務省より渡航中止勧告がでていますので日本からの訪問は困難です。せめて ZOOM により難民プロジェクトの説明を伺った上地区補助金条件をクリアできる形にして難民への義援金をモスクワ東ロータリーに託そうと思いましたが如何でしょうか、ご意見を伺えればと思います。

2つ目は4月28日の親睦ゴルフ大会協力の件です。皆様に後日案内を送りますので何卒よろしくお願いいたします。

今夜は初めての試みですが料金がリーズナブルな居酒屋ですのでお酒は好きなものをお好きなだけオーダーしてください。帰りは夜桜を鑑賞しながら気を付けてお帰りください。

● 2638 回例会 (3/27) ニコニコボックス紹介 ♡大口 ◇トリプル ◎ダブル

小澤 創立 56 周年おめでとうございます。土橋さんお久しぶりです。

近藤 暖かくなってきました。今日は創立記念例会ということで、小林パストガバナーのお話しを楽しみにしています。

廣瀬 創立 56 周年おめでとう。庭のエドヒガン桜も満開で祝っています。

鈴木 春ですね！

● 2638 回例会 (3/27)

● 創立記念例会 小林聰一郎パストガバナー卓話

ポール・P・ハリス

1968(明治元年)4月19日 ウィスコンシン州ラシーンにて生まれる



3歳の
ポール・ハリス



兄
セシル・ハリス
5歳



6歳の
ポール・ハリス



14歳の
ポール・ハリス



士官候補生の
ポール・ハリス
(バーモント教導学校)



プリンストン
大学時代の
ポール・ハリス

米山梅吉1968(明治元年)2月4日 江戸・芝・田村町生まれ(9月明治と改元)

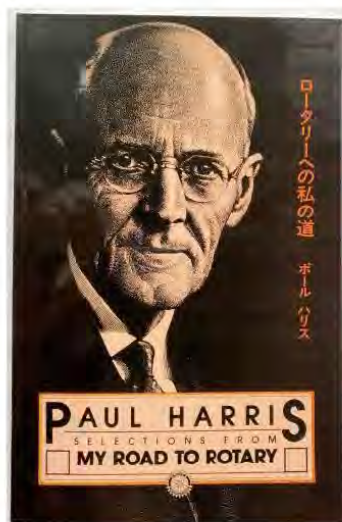


ポール42歳

1910年 ジーン・トムソンと結婚

1910年に結婚して、2年後には丘の上に家を建てました。ジーンが幼少時代を過ごしたエジンバラ通りの名を採って、カムリー・バンクと名前を付けました。

カムリー・バンク



ロータリーへの私の道 *My Road to Rotary*

42章中ロータリーに関しては5章のみ。

幼少期から青年期／弁護士開業までがほとんど。

第1章 我がなつかしき谷間へ

ずっと、昔のある夏の夜のことでした。父、5歳の兄セシルと2歳年下の私の3人で、アメリカ東部のバーモント州、ウォリングフオードで汽車から降りました。あたりは真っ暗でした。すると、ちらちら揺れているカンテラの光が見えました。カンテラは初めて見る背の高い人が持っていました。その光景は今でもはっきりと私の脳裏に焼き付いて、一生忘れることは出来ません。

……妹のニーナ・メイはまだ小さくて母の胸に抱かれていますので、母は私たちが産まれたウィスコンシン州の美しい町ラシーンに踏み止まって頑張ることにしました。

ロータリー創立の趣旨

私は熟慮に熟慮を重ねた結果、遂に1905年の2月、三人の若い実業家に声をかけて集まりました。

そこで昔お互いが、故郷の村で体験したように相互の協力を推進したり、お互いに裸のつき合いを深める方法について、簡単な案を出したところ、全員が賛成してくれました。

(ロータリーへの私の道より)



4人の創立会員

シルベスター・シール ポール・ハリス ハイラム・ショーリー ガスターバス・ローア



最初のロータリークラブ役員

ガスターバス・ローア	鉱山技師	40歳
ハイラム・ショーレー	洋服仕立業	42歳
チェスリー・ベリー	セメント・ブロック機械経営	36歳

1～6回会合記録

1 回目会合 (ノースディアボーン127 / ガスターバス・ローア事務所)

2 回目会合 (ウォルフビル / ハリス事務所) 1905年3月9日

出席者はポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーリー、ハリー・ラグルス、ウィリアム・ジェンセン、アル・ホワイト

3 回目会合 (ステート通12 / シルベスター・シール事務所)

出席者は、ハリス、シール、ローア、ショーレー、ラグルス、ジェンセン、チャールズ・ニュートン、アーサー・アーヴィン

4 回目会合 (ループ / ハイラム・ショーレー事務所)

5 回目会合 (ワシントン通り105 / ロジェリン・ジェンセン事務所)

6 回目会合 (モンロー通り142 / ハリー・ラグルス事務所)

以後、ホテルなどで会合を開いた

最初の綱領

第1条 本クラブ会員の事業上の利益の増大

第2条 通常社交クラブに附随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

ドナルド・カーター入会

第3条 シカゴ市の最大の利益の推進、および市民としての誇りと忠誠心を市民の間に拡めること

この第3条により、**親睦社交団体から社会的目的を自覚**することになり、ロータリー発展史上重要な契機となった。ポールの考え方にも添っていたと推測する。「世のため、人のため」という概念により、クラブの雰囲気が変わり、物質的な相互扶助は付随的なものとなり、次第に一般の人々に対する思いやりへと変化していく

1908年 アーサー・フレデリック・シェルドン入会

1911年 ポートランド大会で採択

Service Above Self

超我の奉仕

He Profits Most Who Serves Best

最もよく奉仕するもの最も多く報いられる

決議23-34 1923年セントルイス大会 第23-34号議案

ロータリーは一つの人生哲学である

それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

この哲学は「超我の奉仕」の哲学であり、これは「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

奉仕する者は行動しなければならない。

ロータリーは単なる心構えではなく、客観的な行動に移さなければならない。

RIは一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する示唆を与えることはあっても、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならない。

ロータリーは決議23-34(セントルイス宣言)に辿り着く

これらの論争、思想の進化などを経験することなく

1920年10月20日、日本にロータリーが入ってきた。

ロータリーは一つの人生哲学である

奉仕する者は行動しなければならない

日本人的感性にフィットした「人生哲学としてのロータリー哲学」と「職業上での奉仕思想」が混在しながら、探究を深めていくこととなる。

戦前20年間の日本的職業奉仕概念の深化が、今の私達の思想的バックボーンであり、ロータリー日本の骨格である。